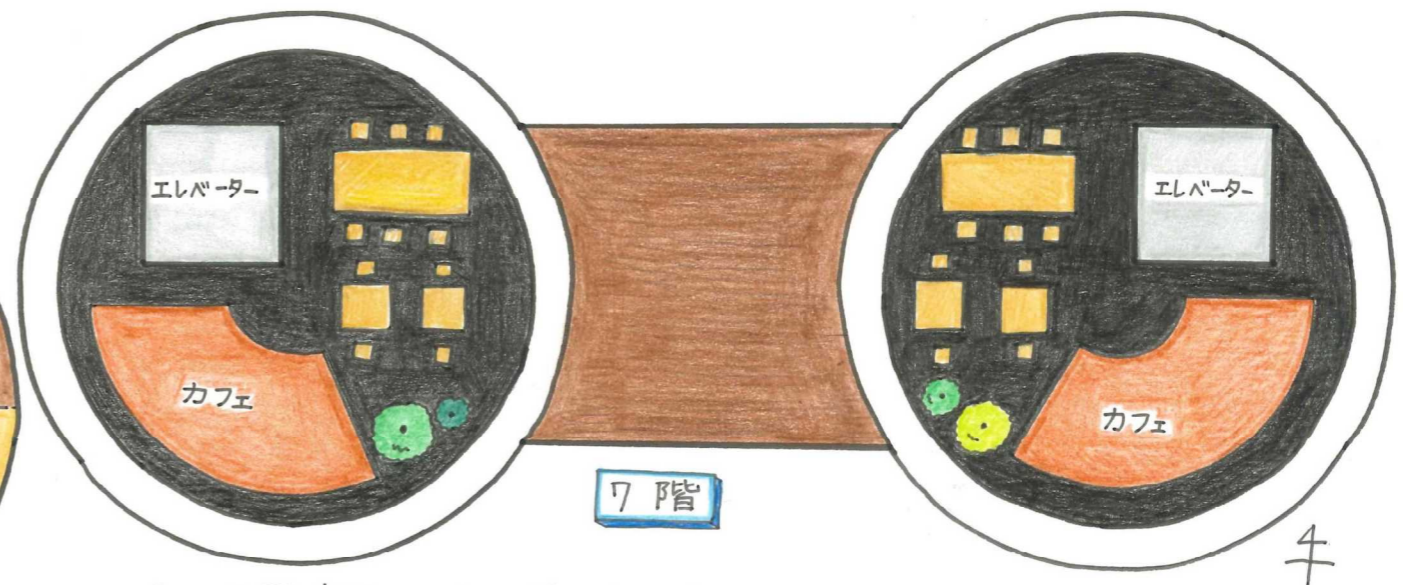
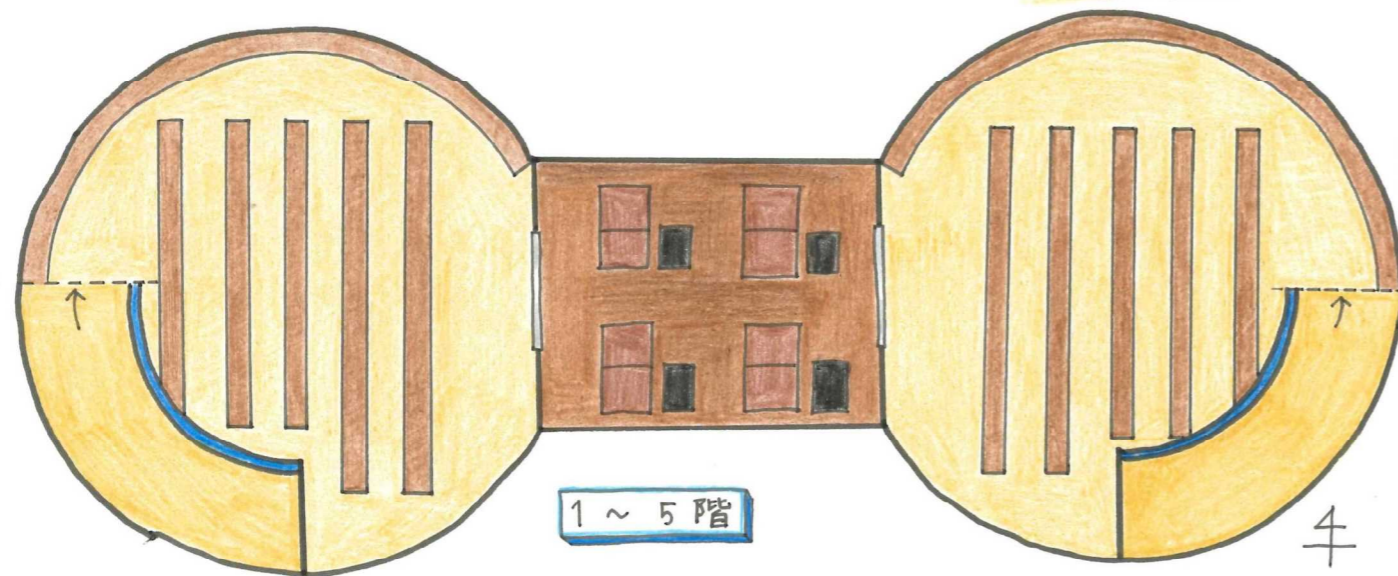
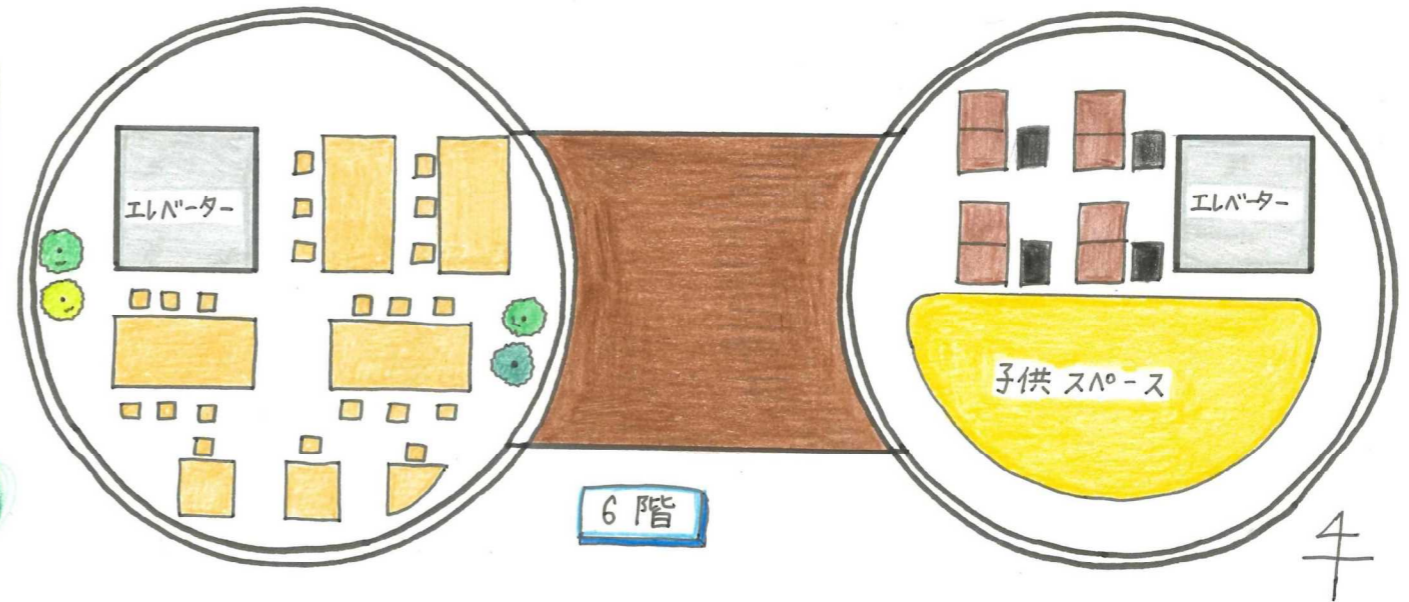


光とくつろぎの図書館



1～5階部分は本の借し出しするスペースで"建物と建物をつなぐ"渡り廊下の部分には外でくつろげるスペースも設けている。

6階の西側の棟には、勉強、読書スペース、東側の棟は、子供スペースを設け、母親や子供づれの大人がくつろぐことも可能な空間をつかった。

7階には飲食のできるスペースをつくり、本を読みながらお茶をしたりできるようにした。

6、7階は全体をガラス張りにし、自然光だけでも明るくなるようにした。このスペースを使用する時にはタブレットを使い、下の階に行くことなく本を借りることができる。

従来の図書館は、勉強スペースや子供用のスペースなどはあるものの、狭かったり本棚が近くにあり窮屈感があったりとあまり良いと言えるような環境ではないと私は思った。

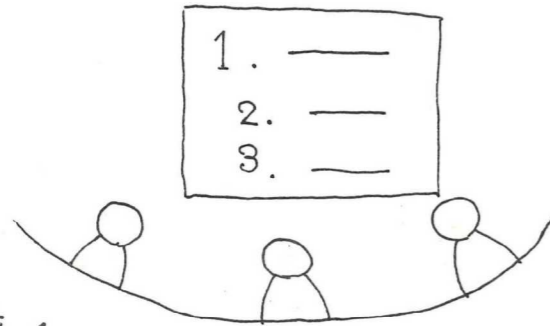
そこで今回私が考える図書館は、静かな空間で作業をしたい人も子供づれの家族などの本を通したコミュニケーションをしたい人もどちらかが広々としていて光がたくさん入る好ましい空間で過ごせるような図書館である。

BOOK ドーム

① 100年続く未来の図書館

・情報化

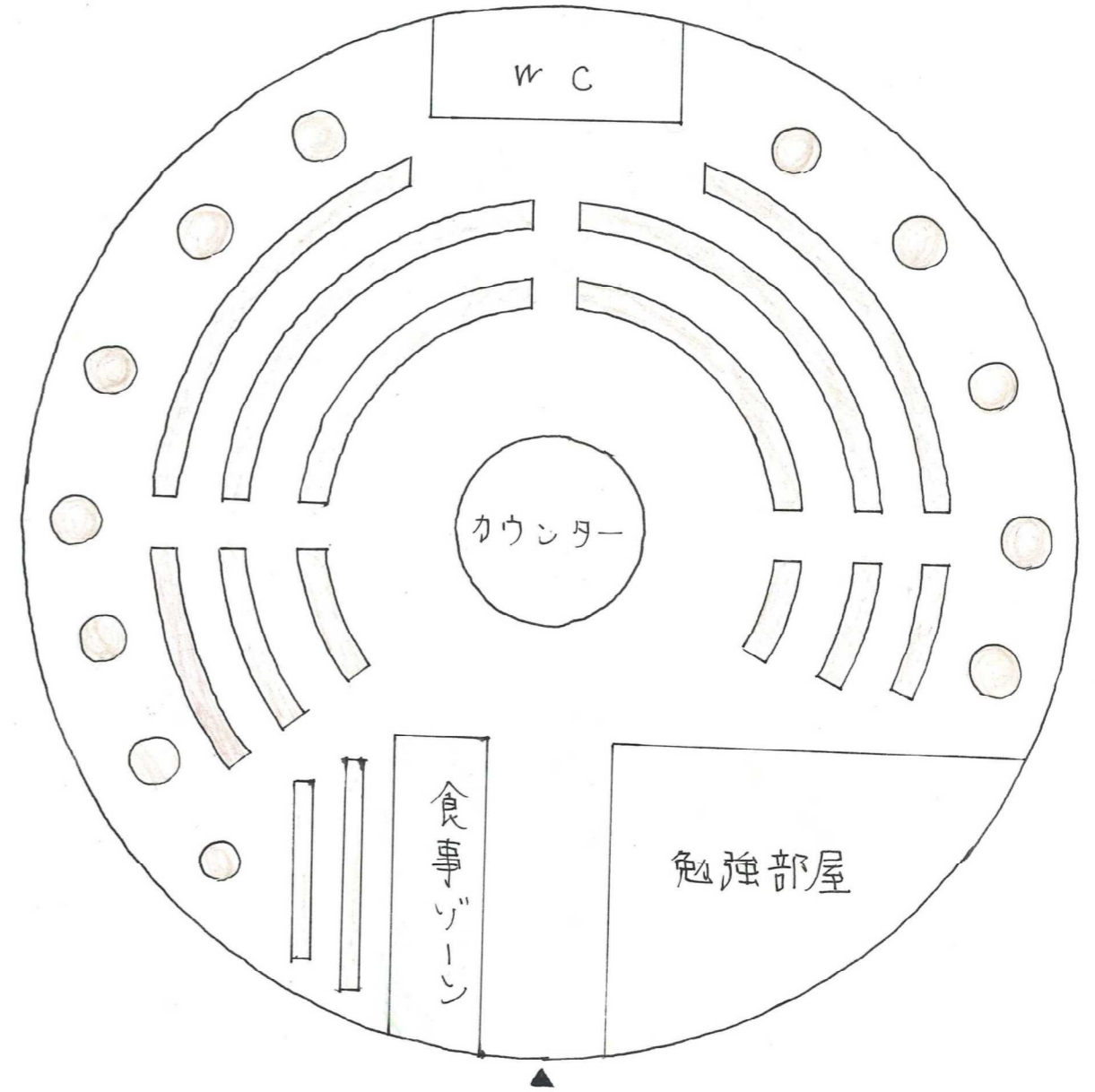
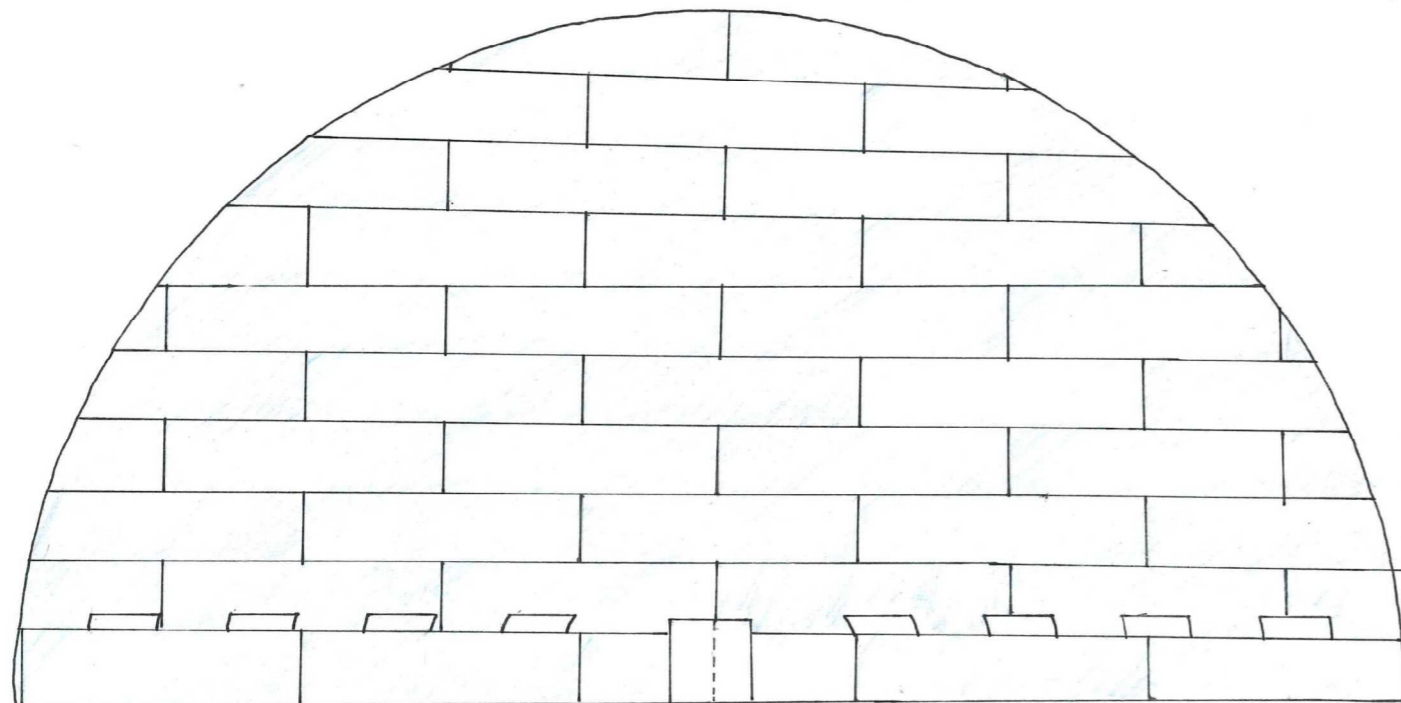
カウンターで、本のかしだし、TOP3をつねにスクリーンに出す。



・地球温暖化

屋根の表面に太陽光発電ができる機能をつける。

さらに屋根をまるくすることで、どこからでも光が当たるようにする。



② コロナ対策

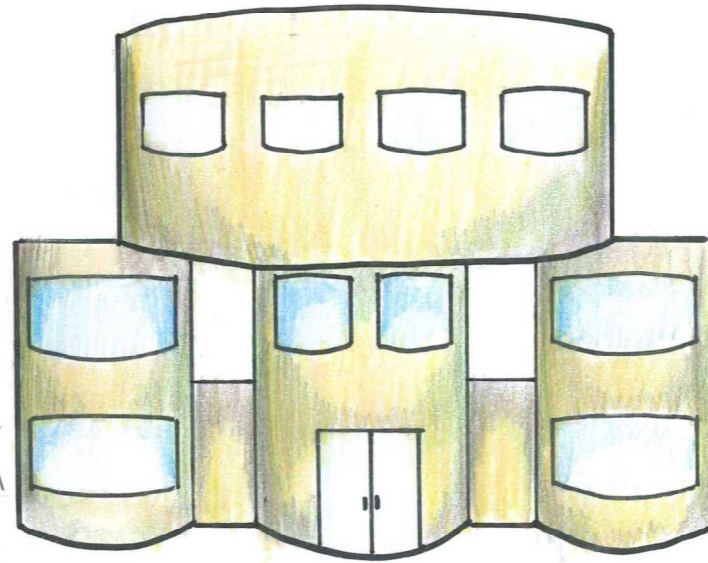
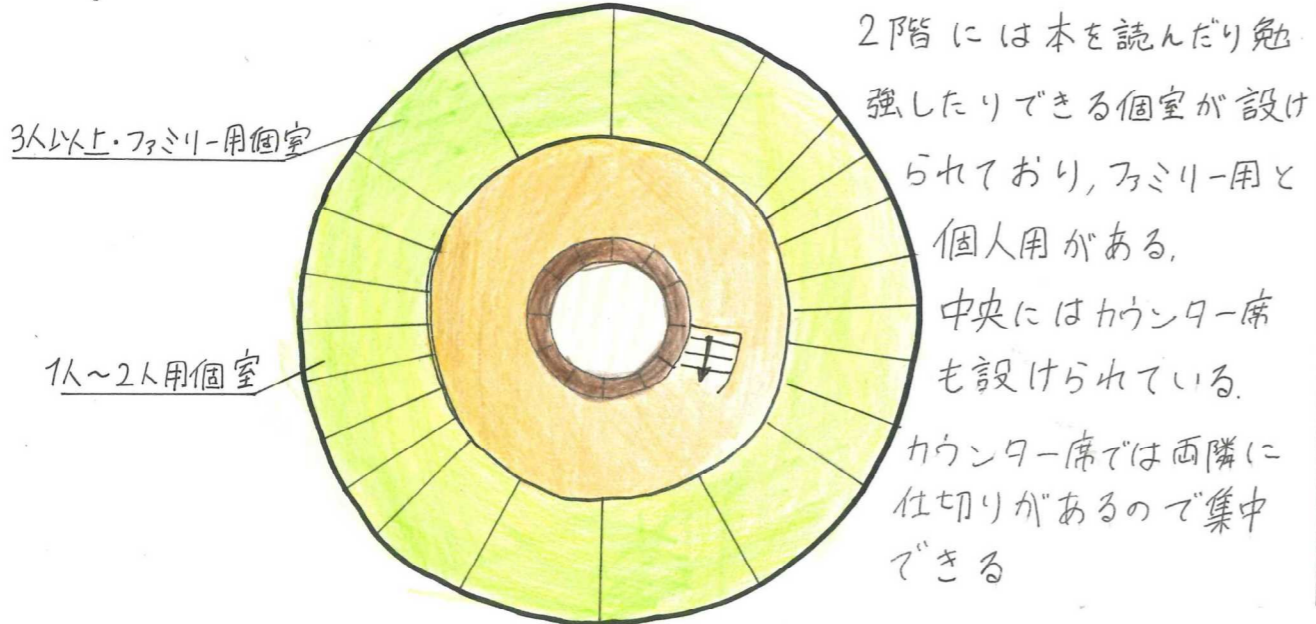
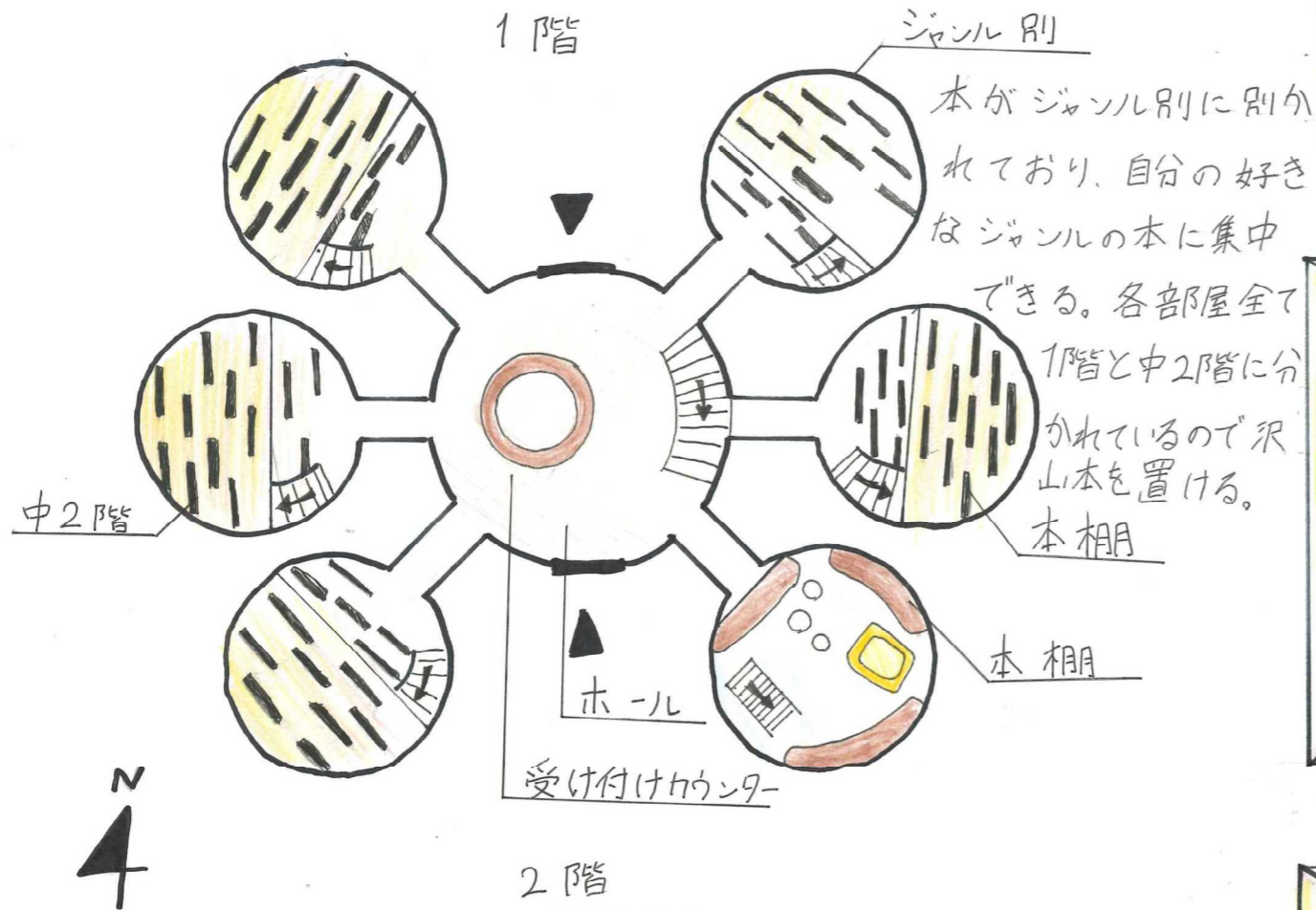
・玄関で体温測定

熱があたが入れない。

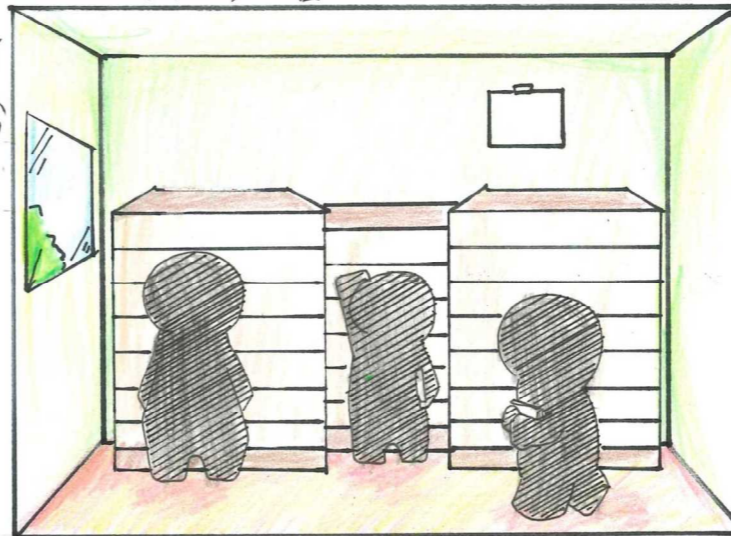
・足をフカッて消毒

手をフカわなくていい → 感染回避

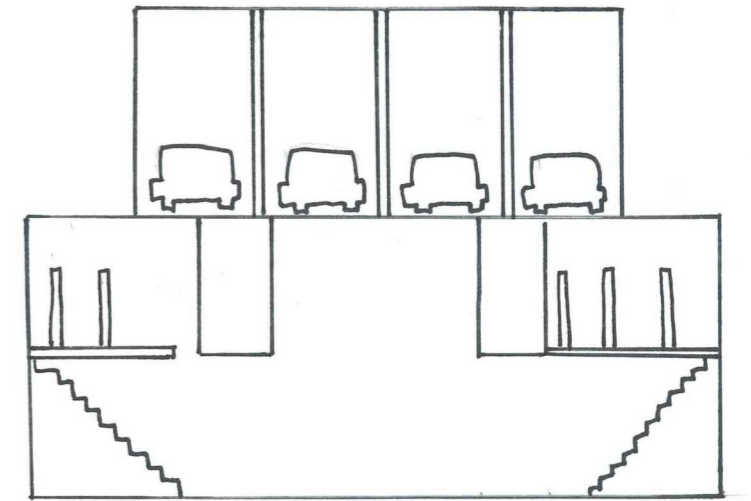
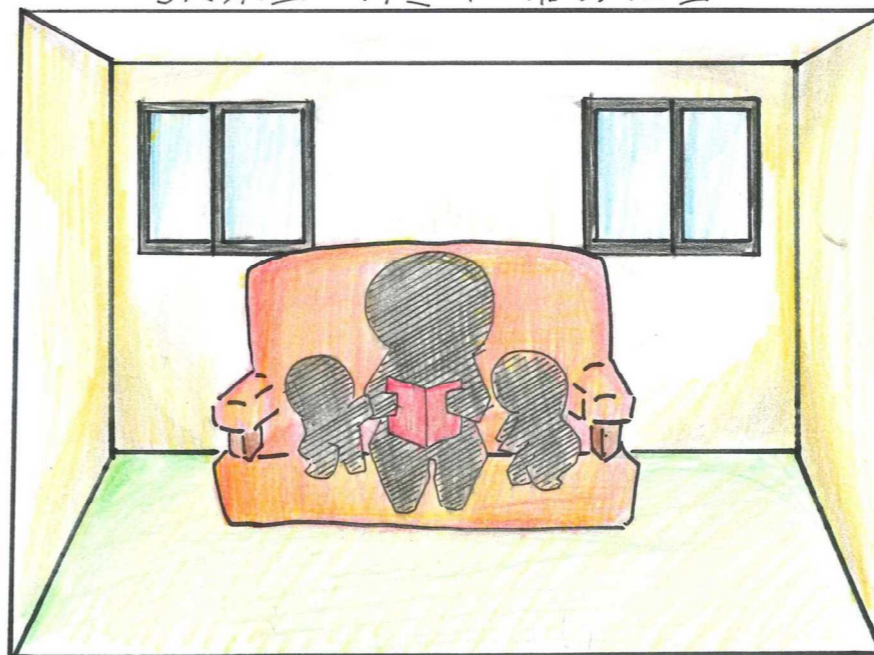
好きな本に もっと熱中できる



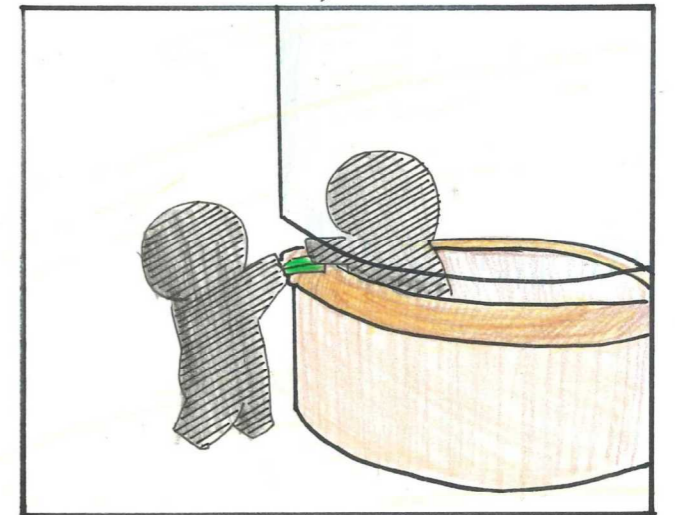
(仮)歴史書コーナー



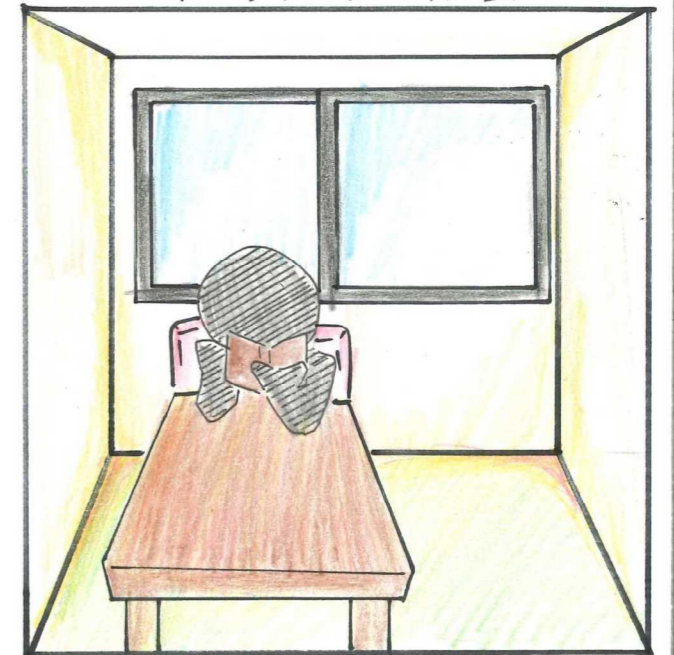
3人以上・ファミリー用の個室



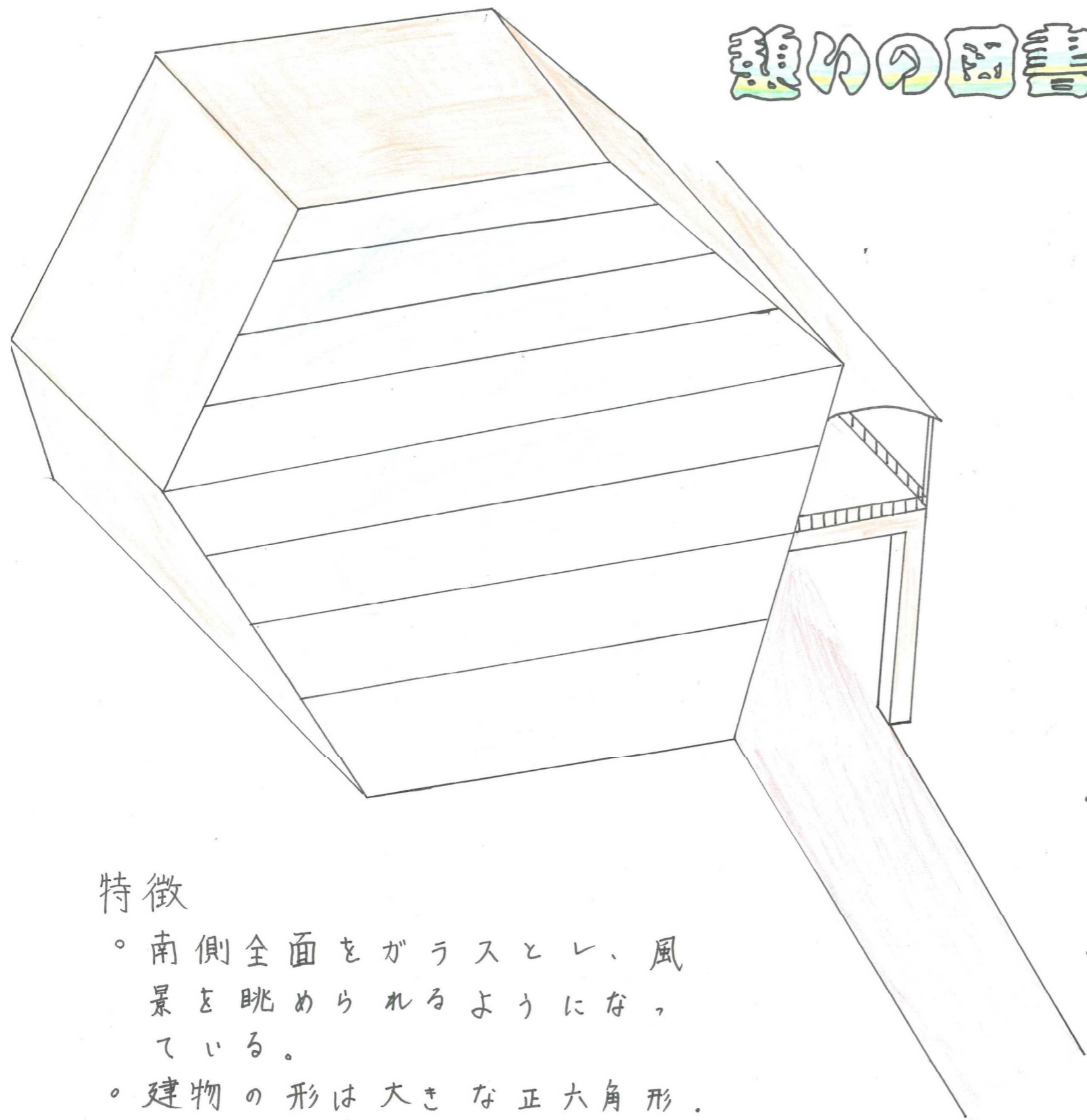
ホール 受け付け



1~2人用の個室



憩いの図書館



特徴

- 南側全面をガラスとレ、風景を眺められるようになっている。
- 建物の形は大きな正六角形。
- 建物の3階に繋がる通路を東静岡駅との間に設ける。

with コロナ

- 本棚から取り出した本は回収ボックスに入れ、除菌を行い、元の位置に戻るようにする。
- 借出はセンサーを用いて行う。
本棚から取り出した時点で誰がどの本を本を手にとったか把握し、その本を持ったまま外に出ると手続きが完了するようにする。
- 返却も同様にセンサーで行う。
回収ボックスに本を入れることで手続きが完了するようにする。

after コロナ

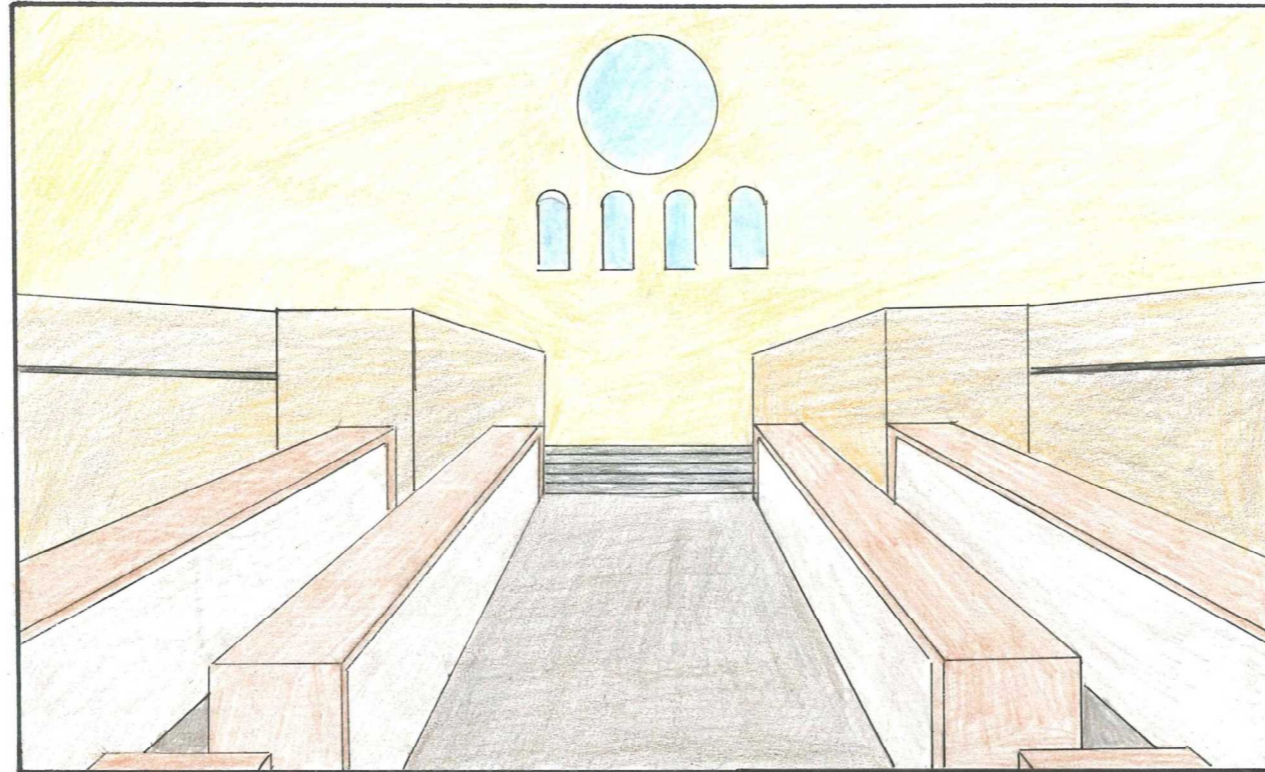
- 3階の入口付近にカフェスペースを設け、誰もが気軽に利用できるようにする。
- 広い集会室を設け、多くの人に参加し、読書に対する興味・関心を持てるようなイベントを行えるようにする。

KEEPING図書館

コロナが流行っている今、人との距離を保つことが日常化している。ソーシャルディスタンスを意識しなくても自然に距離が保たれている図書館。

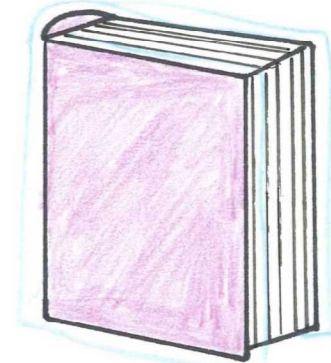
椅子

背もたれを高くし、長時間座っていても疲れにくい。
頭部に小さなマクラがついているため休憩しやすい。



本

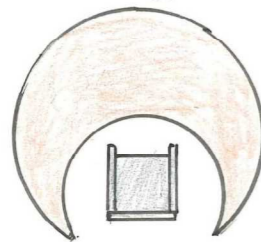
カバーが付いていて、店員が数回つけかえて消毒する。



机

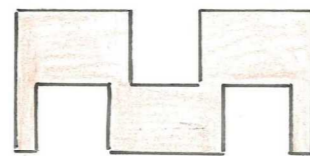
机の形を工夫し、距離を保つ

1つ目 円

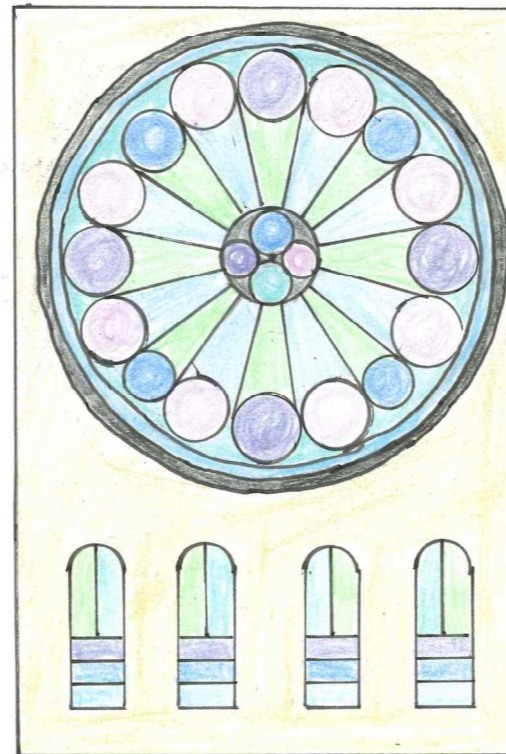


自分を中心に机があるため他人は近よれない

2つ目 ジグザグ



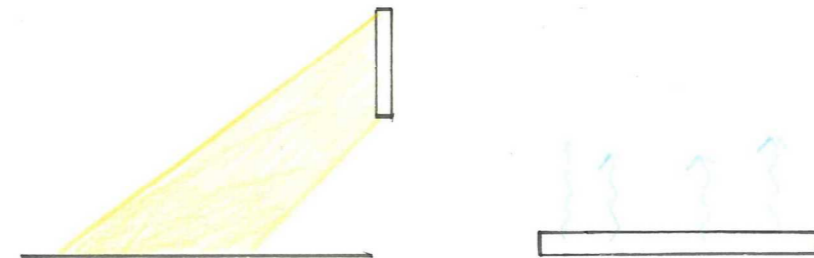
ジグザグになっているため距離が保たれており、対面ではあるが正面ではないため、お刺し飛沫を気にしなくてよい。



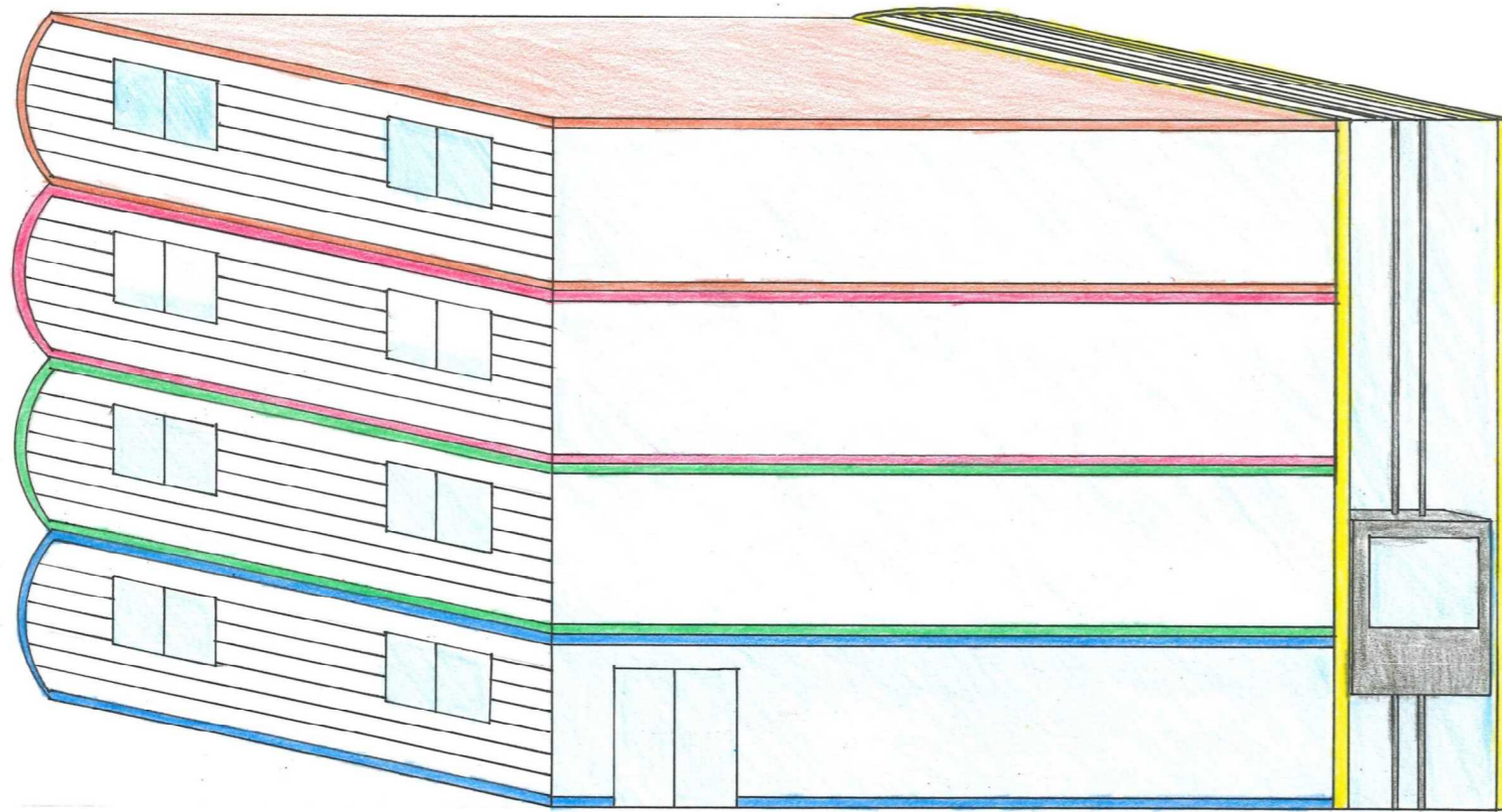
スタンドガラス

図書館内部

2階建てで吹き抜けとなっており、広々とした大空間。通路を広くすることで、他人との接触を避けられる。窓を縦長にし、太陽光で通路を照らす。床上から換気をする。



プライベート図書館



外観

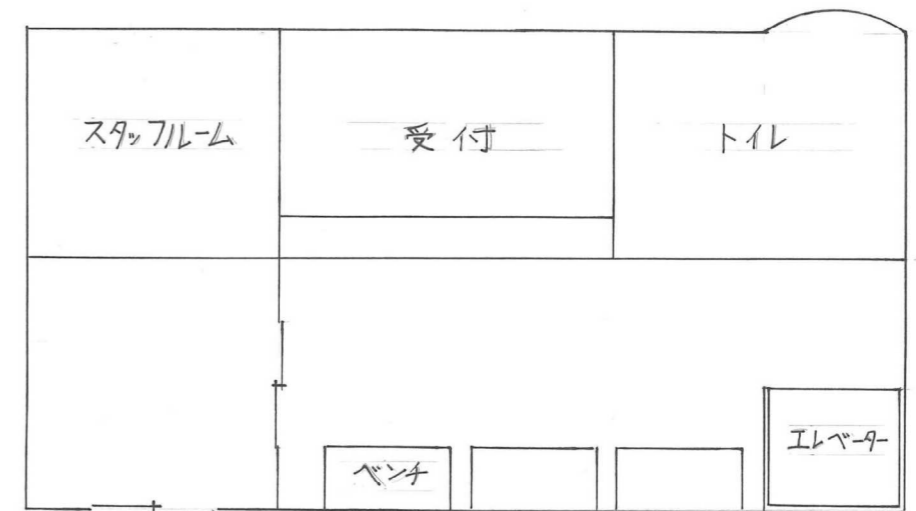
説明

見た目で人をひきつけて、本との交流を深められる図書館にしたため、本が横に4冊、縦に1冊おいてあるような外観にした。

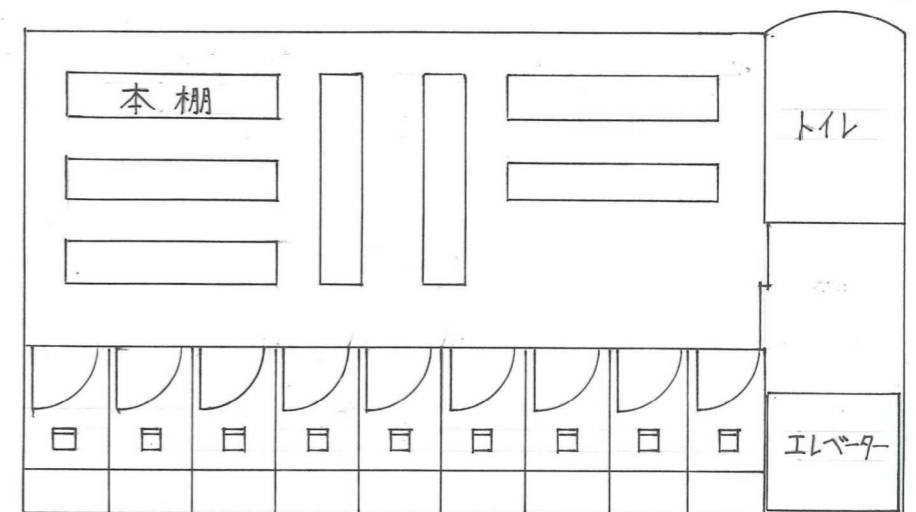
南側の大部分がマゴクミラーのガラス張りとなっており、プライベートに配慮しつつ、気持ちよく、言葉書や勉強ができる。

2~4階を同じ構成にすることで、たくさんのおくことができ、たくさんの方が席にすることが出来る。

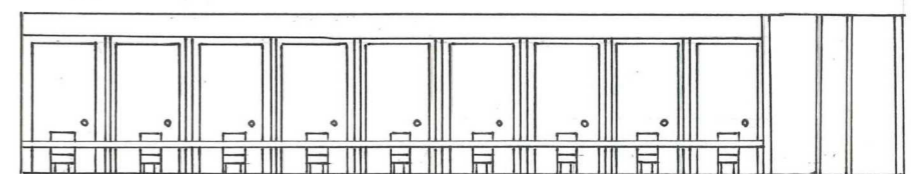
席を1つの部屋のようにすることで、プライベートに配慮でき、人々との間隔をあけ、コロナウイルス感染対策ができる。



1階平面図



2~4階平面図



2~4階南立面図

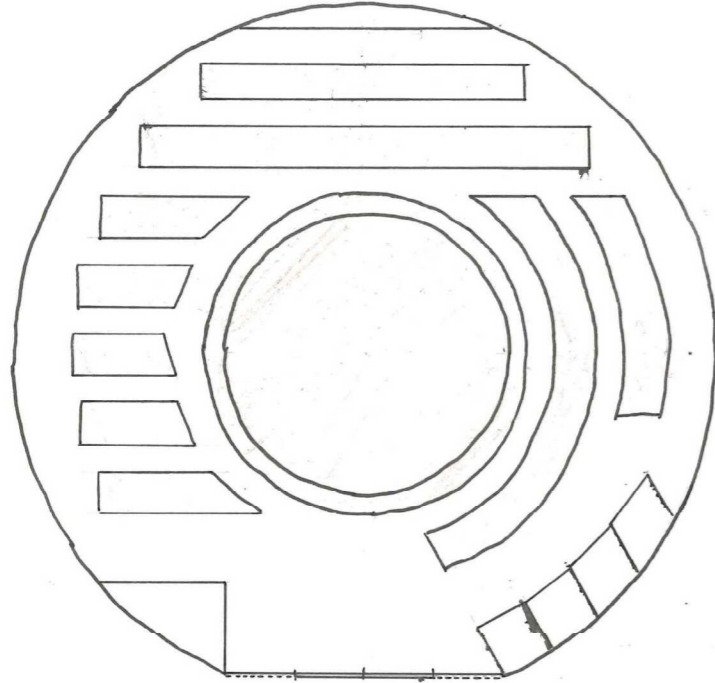
鈴木琉希

Tree library

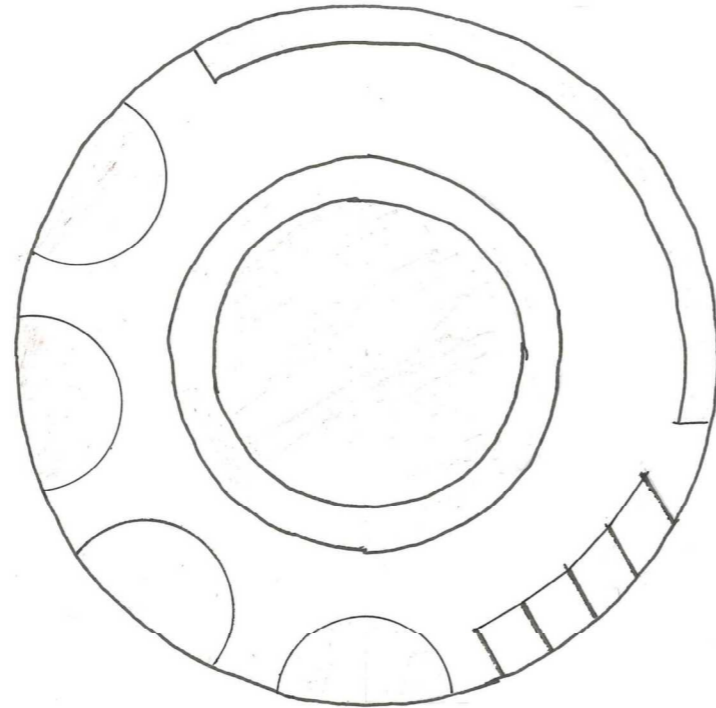
コンセプト

- エレベーターの壁をガラスにすることで、外の景色を見れるようにした。
- 真ん中に木を配置して、自然を感じられるようにした。
- 3階には勉強室を置くことで、自然を見ながら、勉強できる。←心掛り7L、ミュセれる。
- テーブルには、1人で座れるものと大勢で座れるのを用いている。
- 2階には本を持ち込み、ゆくり飲み物でも飲めるように、カフェテリアを設置した。

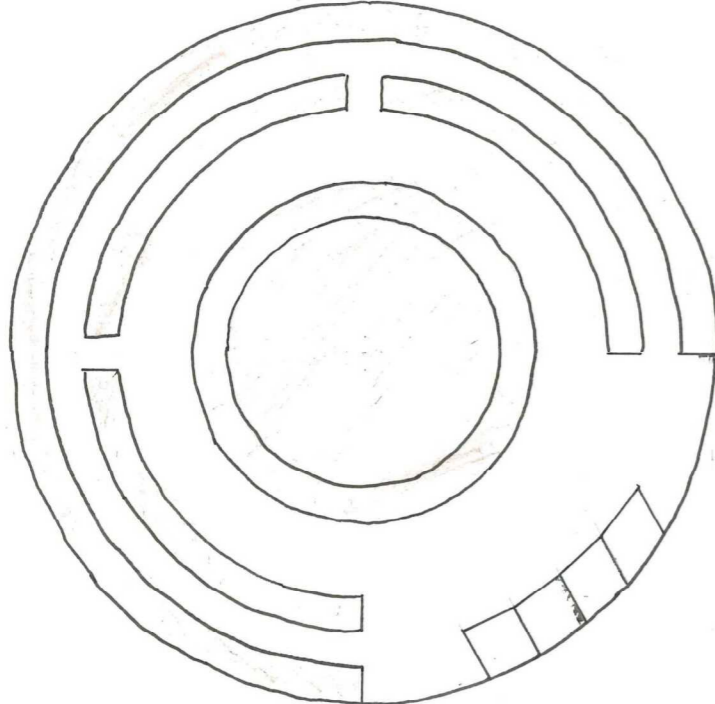
1.4~8階



2階

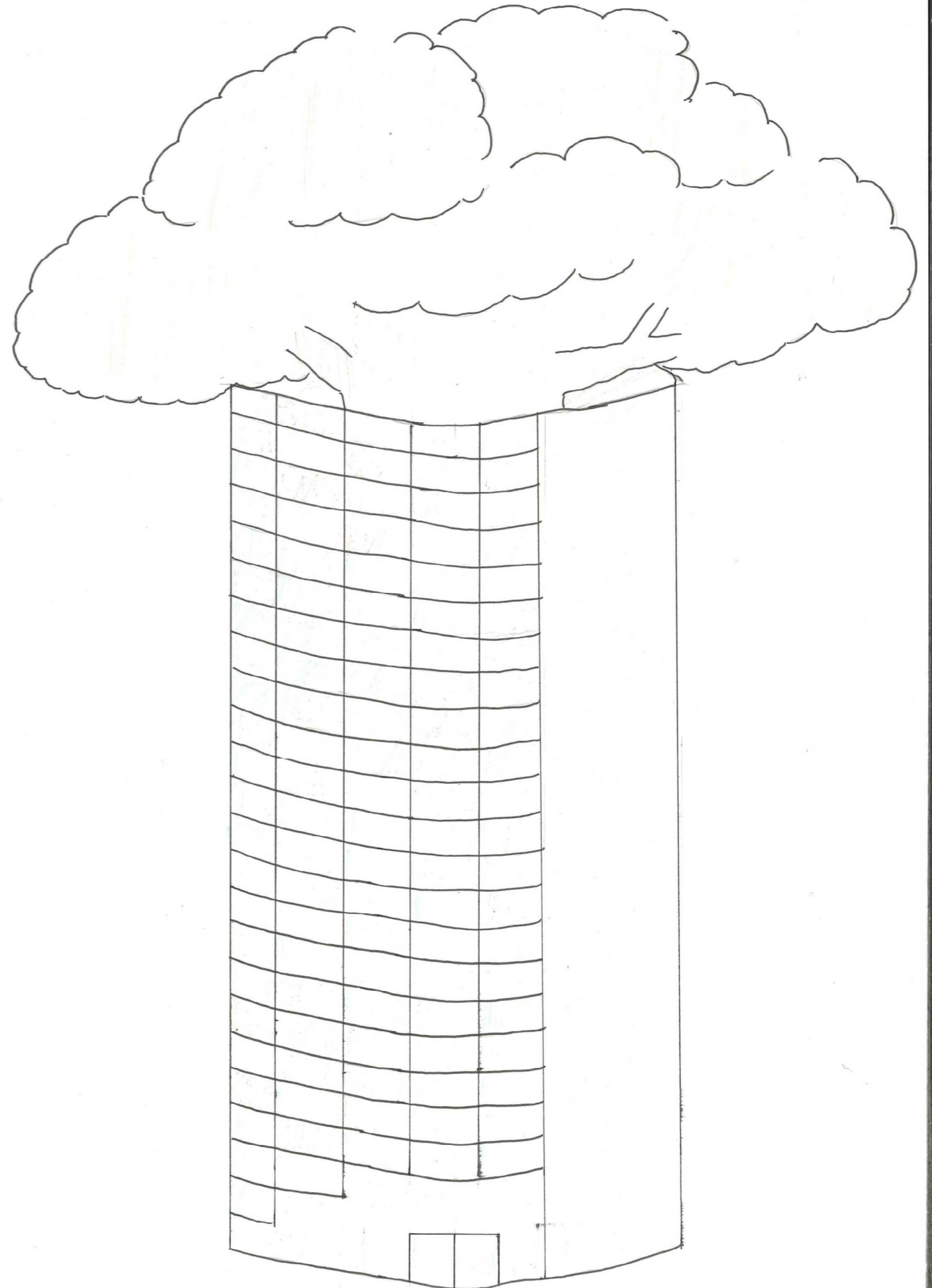
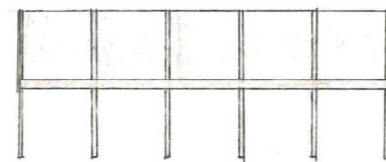


3階



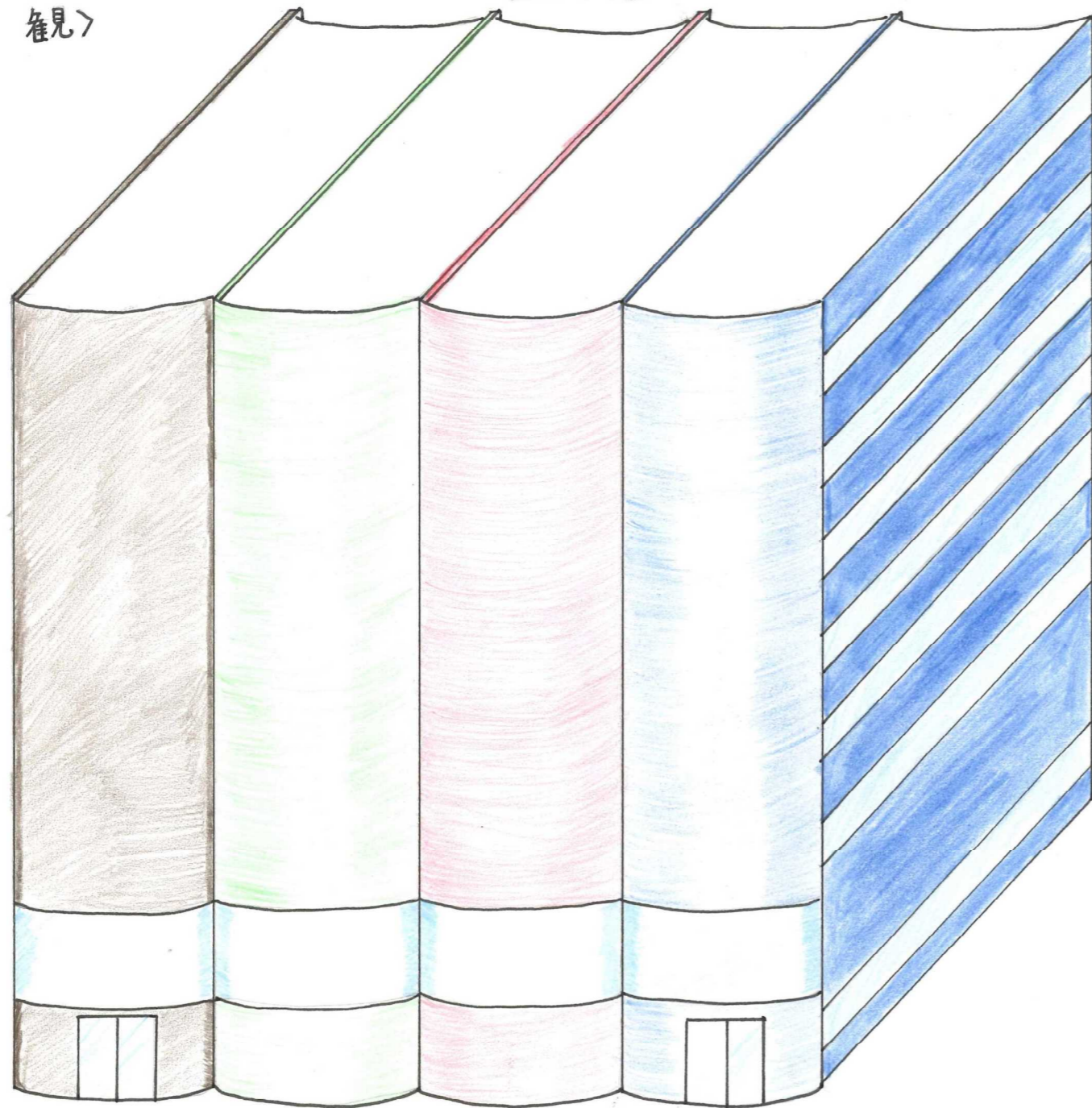
テーブル

テーブルに壁を設置することで、感染対策に有効に、集中して読んだりする。



4連本型図書館

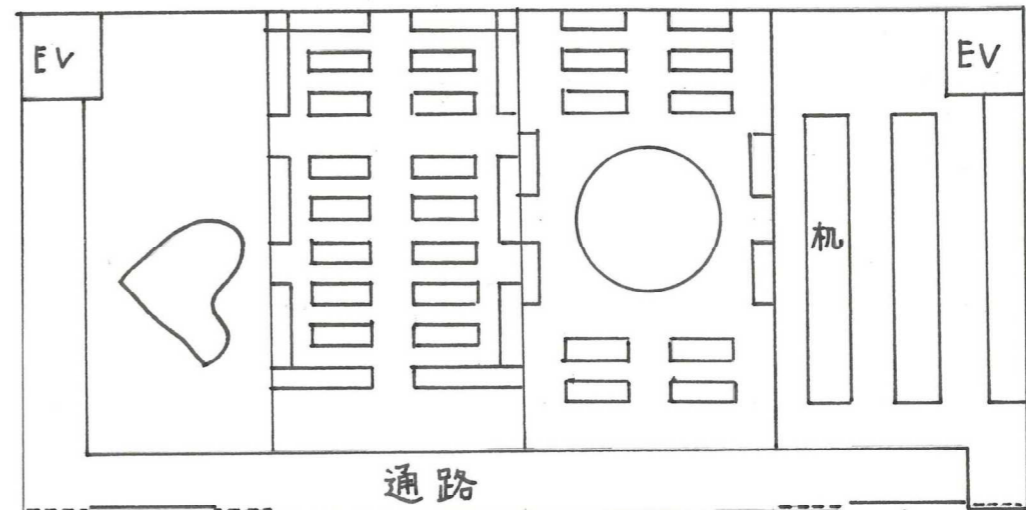
<外観>



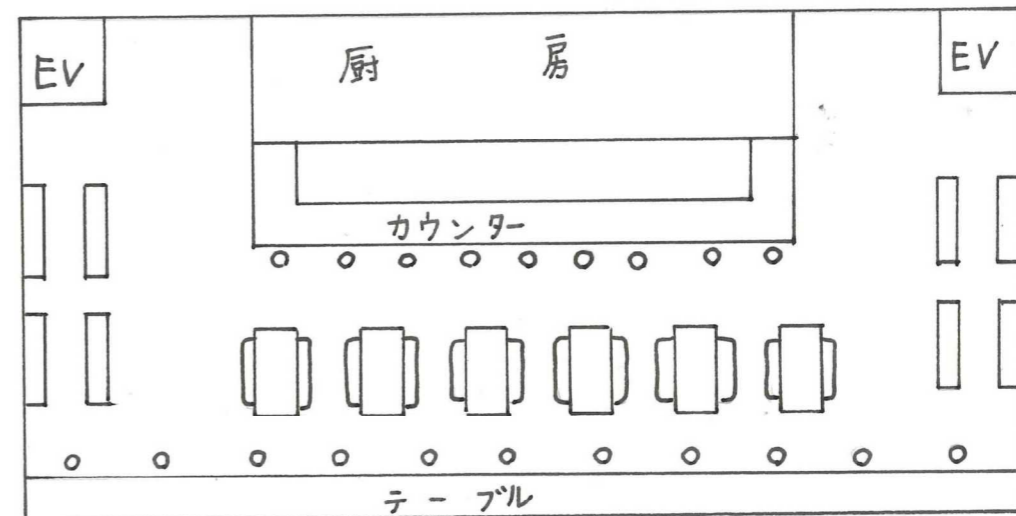
<コンセプト>

- ・タイトルに沿って外見を本の形にする
- ・図書館だけの機能だけでなく、本持ち込み可能なカフェテリアを設置
- ・出入口を別々にすることで人の流れがでま人と人との接触を防止
- ・子供も来やすいように1階にキッズコーナーを設置
- ・上の階へ行く手段としてエレベーターを使用
- ・入ってすぐの場所に自動電子ピアノを置きクラシックを流す
- ・2階を除く各フロアに自習室を設置

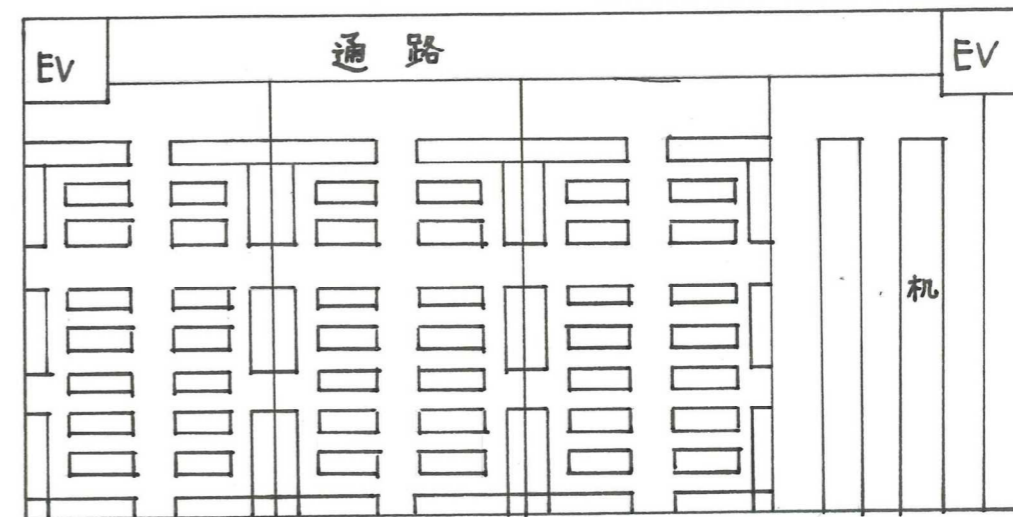
1F



2F

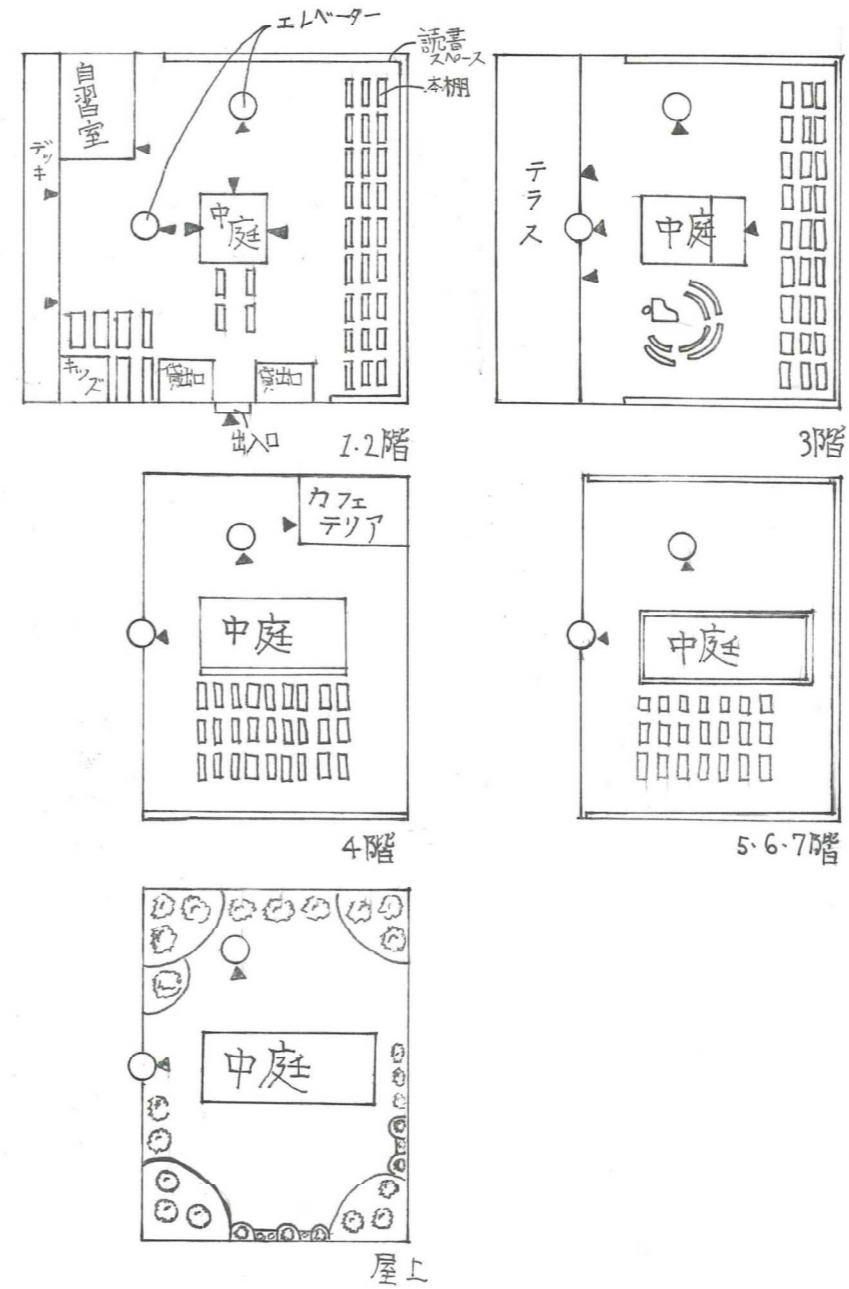
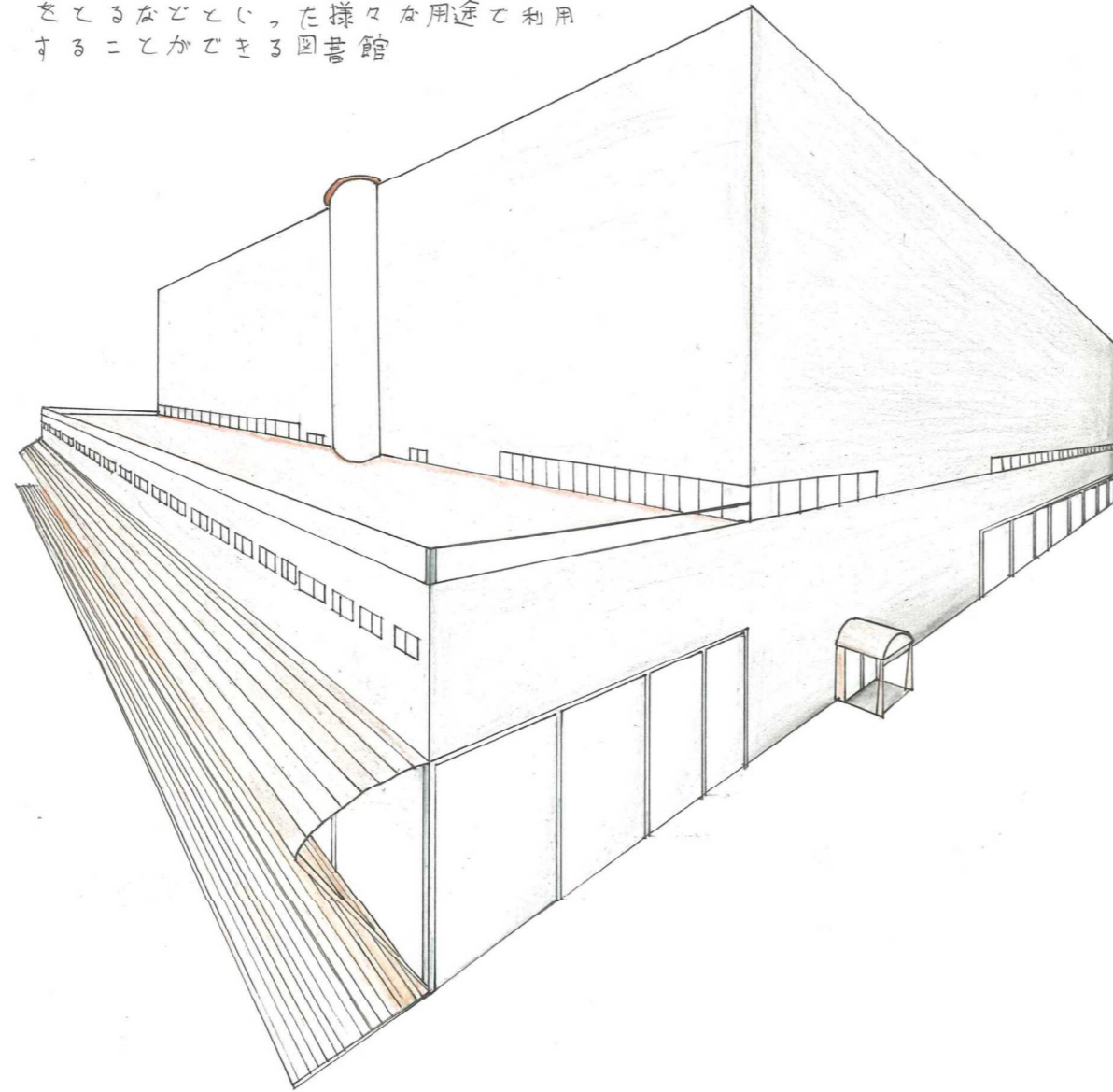


3~8F



多用途図書館

本を読むほりの他に、屋上の庭園を楽しんだり、カフェテリアで食事をするなどといった様々な用途で利用することができる図書館



〈読書スペース〉

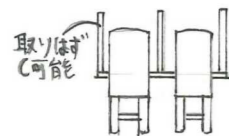
・座席1つ1つの間に、取りはずし可能な板が取り付けられている。これは、感染症対策でもあるが同時に、隣の人にのぞかれることを防止する物でもあり、より利用してもふいやすくした。また、複人数で利用することができるよう、取りはずし可能にした。

〈自習室〉

・勉強のために図書館を利用できるおとした。

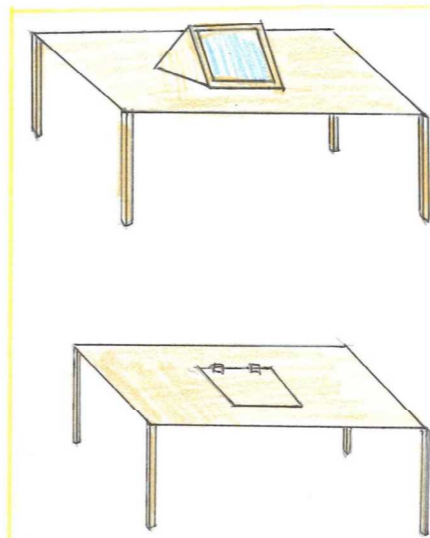
〈キッズスペース〉

・子供(幼稚園児～小学2年生)向けのスペースを設ける。また、その周辺に子供むけの本を集める子供連れでも、気軽に利用できるようにした。



ミライブラリー

主旨 コロナの影響とデジタル化が進んでいる今、図書館をデジタル化することにより、本を取りに行かず机一つで複数の本を読むことができるようになっている。そうすることで、人との接触を最低限にし、コロナ感染を減らすことができると考えた。

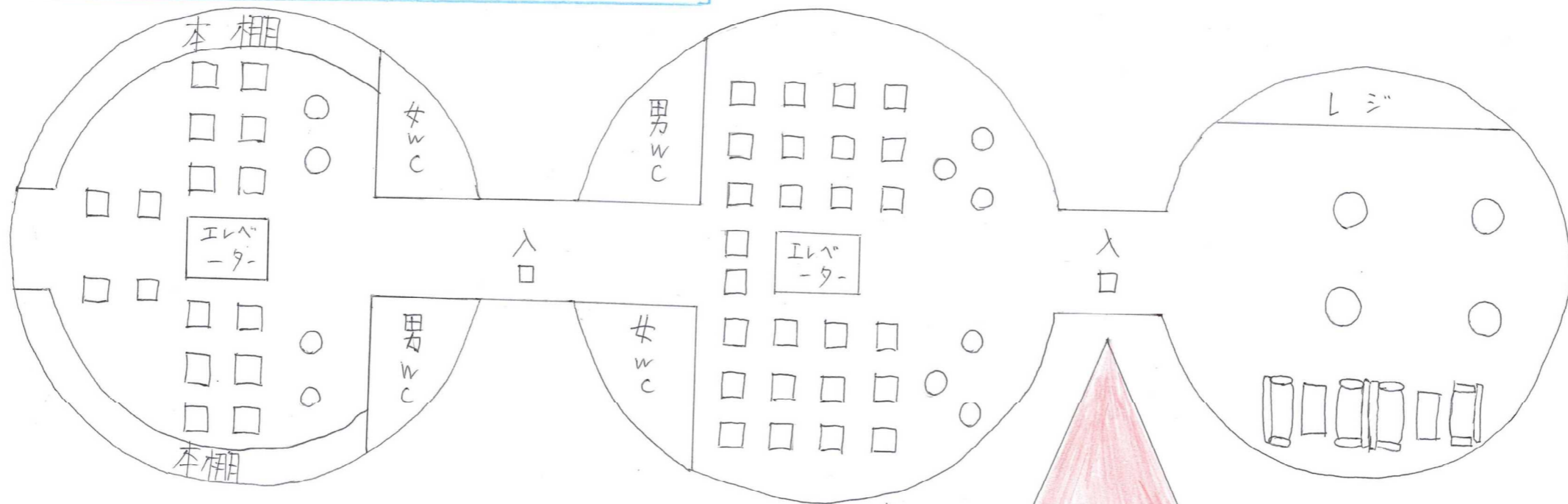


モニターはしまえる。

すべての机にモニターを作りデジタルで本を読むことができる。

中央のフロアには本がないため本を通じての感染を防ぐことができる。

映像授業を受けることもできる。



中央のフロアと左のフロアに図書館があり、中央のフロアはデジタルで、左のフロアは実物で本を読むことができる。デジタルで本を借りる場合は、アプリを通じて本を貸借りできる。

右のフロアはカフェになっており、勉強や読書のあいまなどに行き、楽しく休憩ができるようになっている。

